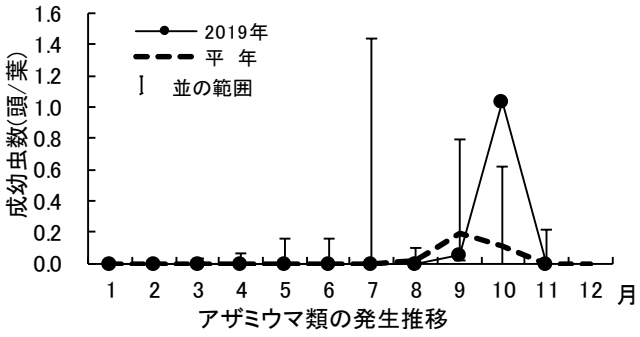
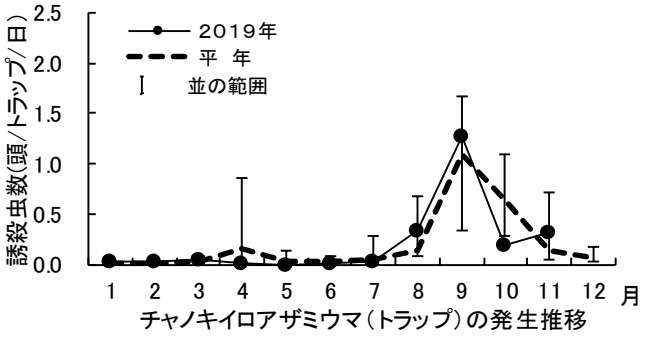
平成　31 年度　　12 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	12 月の発生量（平年比）	並	
	11 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	11 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）	

調査結果

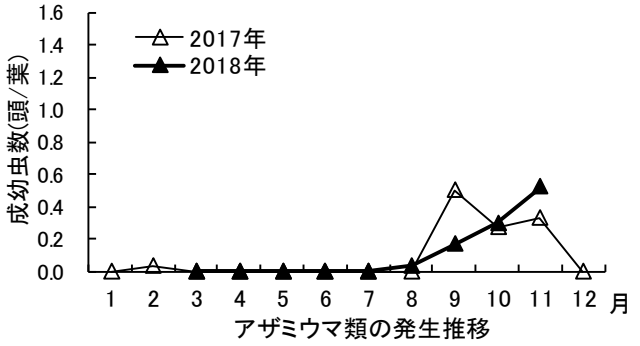
今期と平年の推移

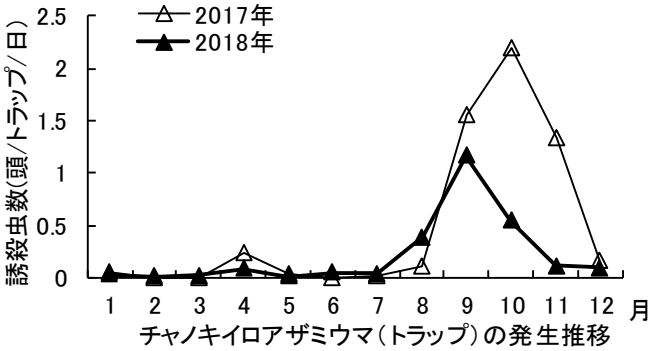




・発生ほ場率：0.00%（平年値：40.0%）

過去2年間の推移





防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

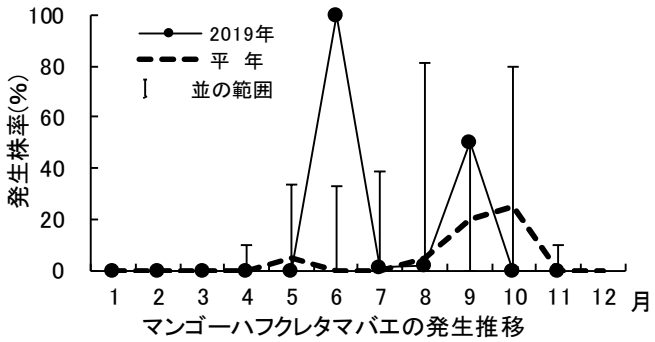
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　12 月予報

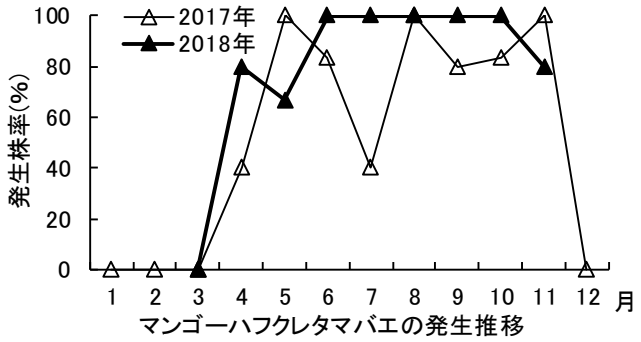
作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	12 月の発生量（平年比）	並		
	11 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	11 月の発生量（平年比）	(発生なし)並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）		

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・発生株率（%）：0.00（前年80.0%　平年0.00%）
・被害新梢率（%）：0.00
・発生ほ場率：0.00%（平年値：33.3%）

防除のポイント

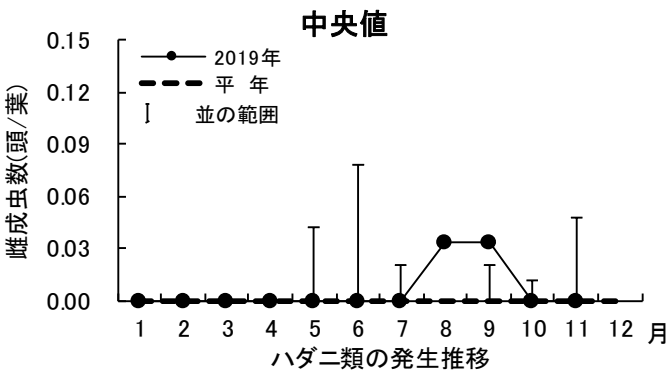
・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

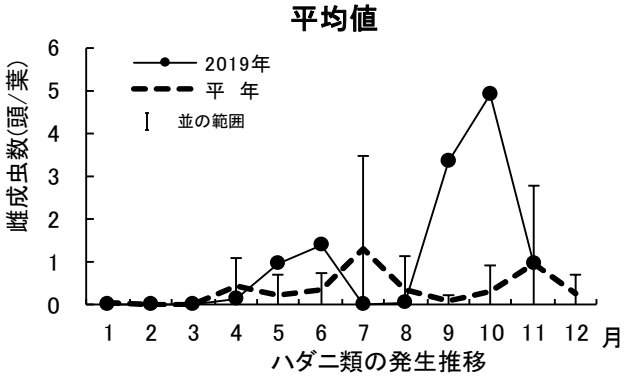
平成　31 年度　　12 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	③ ハダニ類		
予報	12 月の発生量（平年比）	並	
	11 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	11 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）	

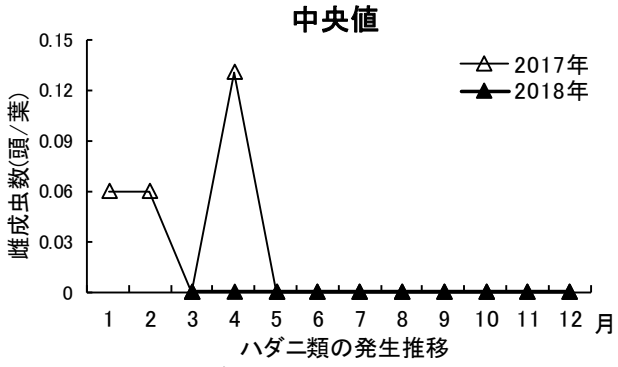
調査結果

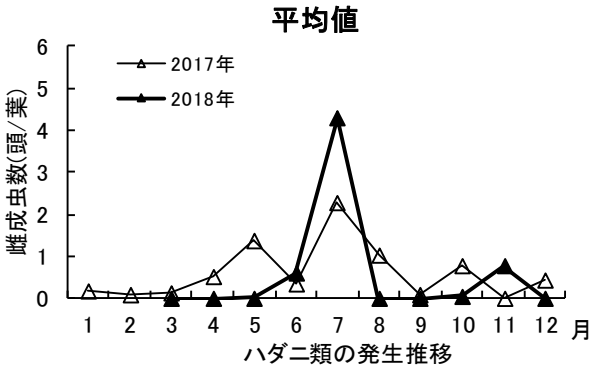
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・一部ほ場で多発生した。

・発生ほ場率：40.0%（平年値：34.0%）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症